

□人間模様（第二十回）

華麗・奔放な「尽くす女」／書家

重森 守

（元朝日新聞神戸支局長）

題字／望月美佐 写真／米田定藏

人門 模様

南題

望月 美佐

日展を飛び出してつくった「鳳美社」なる組織が、こ
としで十歳になる。で、この秋には神戸と東京で華やか
な祝賀会や記念行事をするらしい。

「それだけじゃないの。書道界はじめての家元制度もつ
くるのよん」

「形はそうだけど、私はあんな下から（おカネを）し
ぱりとるつてもんじやないわよ。もっと新しい、『いい
方だけ』の家元なの」

株式会社「鳳美社」取締役社長のほかに、望月流家元
なんて肩書きがふえるんだな。

「それにはねえ、『望月美佐の会』ってのもつくるの。会
長は家元の私よ、ネツ」

「ちらは、書道界を超えて広く一般大衆に呼びかけ、
書の推進のためにたかう家元の支援組織を」という
算段。つまり、そのウ、ファンクラブですな。

趣意書を拝見すると「書にも社会性というか、書を通
じて、うるおいのある日本の回復につとめることをめざ
す望月美佐個人を支援するため……」などと、いささか
仰々しいキヤッフフレーズもチラホラ。

「アノ文章は福田さん（生田神社宮司）がつくったのよ」
さらっと他人事のようにそらして……

「ファンが私の字を手に入れて、それで心が安らぎ、信
者になる。もうこれは宗教ですよ。ウン、美佐教なの」

会の規約によると会費が法人三万円、個人一万円とか。
チヤツカリしてますな。

「そりや、おカネはとらなくちゃネ。でもそれはお金持
ちから頂くつてことで、そうでない人からは取りません
よ。あの会費のところはバツと消して回すとか、ウラは
あるんだから……」

ま、いざれにせよ徹底した自己顕示。こうなると、た
だアツケにとられて見とれるだけ……。

「ＮＨＫがねえ、私の一代記をドラマにさせてくれなん
て前から申しこんできてるんですけど」

ドラマはまだだが、ヌード写真は一足先に公開ずみ。
先年「アサヒカメラ」に登場したと思ったら、この夏に
は富士フォトサロンの「ポートレイト二人展」で尾内七
郎氏（国画会）のモデルをつとめた。

あの女は露出狂だ、なんて誰かがいってましたよ。
「裸になるのって、決してイヤらしくないことよ。私、
お乳が、こうピンクムードで、みんなに自慢するほどな
の、ホント。写真は歴史だもの、きれいなうちに撮って
もらうのって、大事なことだと思うわよ」

お酒の方も、「神戸っ子」の酒徒番付で毎年三役をつ
とめるほどの実績。飲みっぷりは豪放。ダイナミックに

盃を重ね、あげくはピアノに乗つかって歌つたり、半裸でアメノウズメノミコトに扮して踊つたり……と、まあ天衣無縫のご活躍……。

「そんな無鉄砲で、無反省なことをしてたのは、ちょっと前までのことで。ホントは私って案外デリケートですねー、このごろ特に酔いがさめたあと、自分の醜さを見るつていうか、思い返してイーッとなることが多いの」まさか。信じられないなあ。

「ウソじやないわよ。ひとりになつたら、おとなげないなア、イヤだなあーって思うことが多いんだもの。でも、そういう自分にきびしい私って、だれも知らんでしょ」昭和三年生まれ。もう五十の声を聞くころだもん。そりや、トシのせいですよ。

「（素つけなく）そうかもネ」

三百人を越すお弟子さんたちには、『こわい師匠さん』

で通つてゐる。この五、六年、力を入れてゐる幼児向けの書道教室では、『聖母マリアか慈母のごとく』慕われてゐる、と本人は強調なさる。

「あなたをよくめて、夜のおともだちの皆さんには、こういう『夜の美佐』しか知らないでしょ。私のこと書くなら、昼の美佐や、ひとりでいるカオも見てほしいって思うのよ、ネツ」

夜の三宮。グラスを重ねながらキツとみつめられて目をつむつてみたが、きびしい書道家の姿は浮かばず、アラ不思議、カメラの前でポーズするヌードの女史がハミルトン調でおぼろに現れて……（酔つてきたのかな）

それではと、事前に預いた『資料』をひもといてみると――

朝鮮生まれ、広島県立第一高女卒、結婚したが一年で



夫に死別、神戸に出てきて書の道へ——。日展に連続十回入選したあと、『その偽偽性を知り』不出品を決意、独自に鳳美社を設立——。

書の大衆化。(そして自らの知名度を高めるため)活動に全国で個展開催。同時に『11PM』などのテレビ出演、講演、出版などマスコミ界でも大車輪の奮闘……。近ごろは、『美佐オリジナル』と名付けて、ネクタイ、飾り皿、額、扇子、和服からパンタロン……と、めつたやたらに筆をふるつておられる。

「それほど書の普及に情熱を賭けてることなの。書には、ホラ、意味があるでしょ。第一、格調も高いし、すばらしいじゃないの」

お前、そば屋の看板まで書いてやつたのか、と元知事の阪本勝さん(故人)にいわれたそうだが、「私が書いたら縁起がいいのよ。ウン、お店は繁盛するし、男の人はモデルようになるし……」と、波及効果を延々……。

『海外進出』も、めざましい。四年前からソ連、西欧諸国、韓国と軒並みに親善使節だ。デモンストレーションだとマタにかけていらっしゃる。「外国でも、私ひとりがモテるのよ。一緒にいった人に嫉妬されて、足をひっぱられてばかり……」

が、ヤキモチなどはおかまいなしに敢行したのが、『書のリサイタル』。舞台の袖で、笛や太鼓、地謡が演じられるなかを女史が登場、中央に張りめぐらせた幕に向かって、筆太に、エネルギッシュに筆をふるう……という趣向。「書を舞台芸術として開拓した画期的なもの」と資料にあるけど、悪くいえば書道を見世物にしたってことじやないかな。

「まあ、あれは皆さんのプランだけど、私はすぐに何でも乗るの。でも、どうせ見せるならショウ的にやつた方がいいじゃない?」

あつさり肯定してみせて——

「あれだけのリサイタルをひとりでやつたんだもの、私って超人的だと思うよ。サービス精神が旺盛なんだなあ」

神戸文化ホール、広島郵便貯金ホール……と公演を重ね、こんどは文化使節で中国行きの話が出ているらしい。それも、書道界ではただ一人だとか。

「ホラ、私って書家でも絵になるでしょ。女だし、個性もつててし、ハツタリもきくし、心臓も強いし……。だから、選ばれたのよ、きっと」

もう、手放しのPR。いや、ちゃんと心得ていらっしゃるつもり。「だって、同じことやっても仕様がないもん」だけの世界。よーやるよ」と慨嘆したそうな。わかりますねえ。

中国へは和紙づくりの人間国宝と一組。十一月の明石公演には、殺陣と組んで『書のショウ』をおやりになるつもり。「だって、同じことやっても仕様がないもん」

夫と死別以後、ずっと独身。

「ベッピンだからトクしてるだの、蔭にパトロンがいるから今日があるだのってカゲ口たたかれたけど、私ってプライドきついし、潔癖だから、ポンサーサーなんかゼンゼンなし、よ」

でも、恋人には不自由していないでしようが……

「そう、私って、無関心そうに振舞われると心魅かれるタチなのね。でも、知能犯だし、みなさんのイメージこわしちゃいけないし、相手は慎重に選んでますよ、ウフフフ」

『サウジの石油王でも現れたら話は別だけど』いまのところ再婚する意志はなし。

『そりやねえ、影のよう私を受けとめてくれる人は欲しいわよ。でも、仮りにそんな人がいても、いつかはきっとわざわざくなると思うの。ホラ、私ってわがままですよ。だから……』

ファンの夢をこわさないためにも一人できびしく生きて行きます、なんて殊勝なセリフを吐いたかと思うと「いろんな恋愛をして、そのつど心をこめてラブレター書くでしょ。その恋が終わって、またお友達にもどつた

ら、ラブレターも必ず返してもらつてゐるのよ。私がすぐ
く燃えた人が、死ぬ直前に小包みで送り返してきてくれた
ことがあるわ」

「なんと、なんと。これはドラマになりますねえ。いつ
たい、どんな手紙なんだろ。

「表現を押さえ、かなしいわよ。万葉集をかいたり、
出展作品の次にできばえのいいものの裏に心を綴つたり

「ひとめ、おめもじいたしたく……」とか、そりや余韻
のある文面よオ」

返されたラブレターは時折り読みかえす。お弟子さん

に見せることがある。『こういう愛もあるのよ』などと
人生勉強の一端に――

奔放にみえて、どこかいじらしい一匹狼の女流書家。

『そうよ。ひとくちでいえば、私はおんな。それも、か
わいい女。奥さんにしたら最高よオ。尽くすタイプだも

ん。なのに、どうしてこんなに敵が多いのかしら。あな
た教えてよ』

うーん。まあ、アナタは世界中のすべてが自分を中心
に回つてなきや気がすまないところがあるからなあ。

それはいいとしても、自分のことをヌケヌケ長々と自
慢するの、あの点がインテリ、つまり『教養のある人』

の反感を呼ぶんじゃないかなあ。

『(一瞬絶句して) いわれてみれば……なるほどと思
うわ。だれも、そんなこと、今まで直接いつてくれなかつ
たんだもン。(シユンとして) きっと……そうかも、ね』

いや、いや。そんなにシオレルのは、およしなさい。

いままで通り、華麗に、奔放に、鉄面皮に生きてる方が
いかにも『天下の美佐』らしい

『反省する美佐』なんて、第一、サマになりませんよ。

ねえ、みなさん。



一人静かにきびしく、りりしく、作品をみつめる“星の美佐さん”(兵庫区自宅にて)

□話題のひろば
I

スタッフも歌手も みんな神戸っ子

神戸文化ホールでは、"グリーンステージ"と銘打ち、市民文化発展のため地元文化団体による舞台芸術公演に、自主的に援助を行っている。この名称の由来には、神戸にゆかりの若い有望な芸術家を発掘し、育て上げたいとの願いがこめられている。

今回は、その第10回目を記念して、「'77 KOBE 歌のフェスティバル」を企画。神戸在住、または出身の歌手を一堂に集め、シャンソン、ジャズ、歌謡曲と趣向を凝らしたプログラムを編成。神戸の文化水準が低くないことを、市民にアピールしようと思欲満々だ。新曲△いつかさようなら△を発表したばかりの伊勢功一さんは、「地元神戸の人たちにいち早く新曲を披露できるのが嬉しいです。また私も神戸っ子。このような神戸らしい音楽のお祭りがいつまでも続いてほしいですね」と語っている。

新しい試みであるこの祭典に大いに期待したい。

△演出・構成▽末広光夫、徳巣 眞一司

会▽小山里子△出演者▽湯井一葉、上平

田裕子、堀 郁子、内海みゆき、高島久美

子、松江和耶、内藤国雄、森田由美恵、ア

ンディメイフェア、滝えり子、チャーリー、松本房子、森哲也、伊勢功一、あ

い御影△演奏▽白井克治△ニューソニックス

10月1日(土)午後6時 神戸文化大ホール 入場料2,000円。



★都市対抗野球で神戸製鋼チーム日本一！ 黒獅子旗

神戸市代表チームが、都市対抗

野球大会で全国制覇。スコアは三

対〇の圧勝だった。「準決勝の一

回の表の攻撃が終わった時には、
もう優勝の自信がありましたよ」と
清水監督。自信があつてもアマ
チュア野球日本一の栄冠だ。喜び
の表情は隠せない。

神戸市代表チームは地区予選で
優勝した神戸製鋼チーム二十人に
五人の補強選手の加わった強化チ
ーム。決勝戦、突端から小林晋哉
のホームラン。「小林晋哉だけじ
やない。小林貢、登記欣也、増岡
義教、みんなよくやりました」増
岡投手は最優秀選手の橋戸賞。

「補強の五人の選手も素晴らしか
った」神戸を愛する気持ちがチー
ムの結束をいっそう強くした。

清水一夫監督は神戸製鋼に来て
五年目。報徳、市神港と県下屈指
の野球名門校を教えてきた大ベテ
ラン監督。

「何度でも優勝は嬉しいです。勝
たなくては意味がない『負けても
悔いなし』は嘘です」毎日の練習
は辛い。だが勝てばすべて満足す
るという。

さて、来年。今年の優勝チーム
である神鋼チームは、予選なしで
大会に出場できる。だから応援団
の期待も今から大きい。
「勝ちたいですよ。来年も勿論」
神戸っ子球児、頑張れ！



神戸市代表チーム全員集合！（上） 後楽園にかけつけた応援団（左下） 左から3人目が喜びの清水監督（右下）



動物園飼育日記 - 133 - 亀井一成



アニマル事件シリーズ(5)

カモ母さん家出事件



親グマの背中に中グマがのっかり、そのまた背にとびのった一頭のオスグマ。さっと仁王立ちになつたと思ひきや、絶対にあり得ないはずの高さ6メートル。コンクリートヘンス上部にそのクマのツメがひつかつた。いやとどいたのである。

もちろん、クマやライオンという猛獣類の放養飼育場のヘンスの高さは、種々検討され、国際的にも5~6メートルが安全ラインとされている。にもかかわらず親グマが次々と脱出するという恐ろしい大事故が起つた。

それは豪雪の深夜。吹きつける雪の中、冷えこむからだを室内にも運べず屋外放養に出されたままの親グマたち十数頭の群。みんな、片隅に寄りかたまつて体温を守



「あーあ、水遊びは気持ち良いよ」とカモの子達

りあう彼等だった。ブルーリーンとはねとばす大雪は一瞬たりともクマの毛色さえ見せないほど降り続いた。そして時間単位という降り積もった雪がそのクマたちに踏みつけられ、50センチ、1メートルと、積もった雪でクマのいる「足場」が、固められ、せりあがつてきただ。そして夜明けと共に空腹に動きだした彼等が、とつぐみあい、ふさけるうち、ひよいと他の者の背にのっかつた一頭が、仁王立ち、はからずもツメがヘンスの上部にひつかかり、よじのぼつたのである。いや、これは、私のクマ脱出事故例の推理だった。

だが、こうした類似の脱出事故が、クマや猿類でわが国の動物園でも実際に起つているのである。

そこで、たとえ放養飼育といえども閉園時には全てを室内に収容し頭数のチェックをすることになつていて。だが、しかし、長い日々のこと、時として、何らかの原因で、エサにも目もくれず室内に入つてくれない。何時間もかかって、何をどう追いたてようが頑として屋外にいはつたまま動かない。そうした日、まあいいや、一晩ぐらい」と屋外に出したままの一夜を過ごせることになつて、帰宅したら、きまつてその翌朝、担当者が出勤する前に、非常連絡を受けることに、よく相成るのだ。いや実のところ、わが神戸王子動物園ではこうした恐ろしい事故にはならないよう、毎日厳しい安全チェックを行なつており、「絶対事故は起こらない」という安全宣言さえとなえています。どうぞ安心下さい」

〔逃げ出たカモ事件〕

と申し上げた口先から、こんな小さな、かわいい脱出事件が起つたのが、ちょうど一ヶ月前のことである。

何しろ、事故の原因は予想されないちよつとしたことがきっかけになるもので、こちらは大雪でも何でもない。大フライングケージの金網張替へ工事のため、ツルやコウノトリ、カモなどを一時各所に同居させることになつたが、その名のとおり、フライングできる鳥舎のこ

と、どの鳥もが、優雅に飛べる羽

をもっており、うかつに金網のな

い池に放すわけにはいかなかつ

た。だが、さりとてツルやコウノ

トリ、ペリカンという大きい鳥は

なんとかオリの中へ入れたもの

数多いカモまで収容するオリが見

当らない。

“ええい。一羽や二羽ぐらい

逃げたっていいや！” やむを得

ず、カモ類は、羽を切って飛べな

くしてあるハクチヨウ池に放して

やつたのである。

たとえ、大きな池だろうが大群

を作る彼等は、たちまち、互いにからだを集めあい、群

を作つての動きが目立ちはじめた。と同時に、金網のな

いこのフライングケージ内の彼等は、プールを一周。その

あと、島かげに寄り集まつて休みはじめた。

二・三日は、一羽の事故もなく、実に静かな日々を過

ごしてくれたものだった。

ところが、四日めの夕暮どき、どうもカモの数

が減つていて、やはり三度めのチェックでオス、メス、

二羽のカモが不足していることに気づいたのである。

園内にはホロホロチヨウ。チャボ、ミノヒキチャボなどかなりの数が放養飼育されている。そんな鳥たちにさ

そわれたのだろう。

あれだけ、きちんと餌どきには、池のヘンスを見輕に

飛びこえ、まい戻つていたのである。

その、あれとあれと、予想できる二羽のカモが突然行

方不明に相成ったのだ。

一羽一羽総当たりをやつてみてもやはり帰つていらない他のケージ内にもぐりこんでいることも分った。

一週、二週、三週と。その姿をいつこうに見せないこ

とから、ひょっとしたら、野犬かのら猫に襲われたので

はという不安がつのるばかり。そしてはや

一ヶ月が流れ流れた。

それでもやっぱりカモの姿を見たという

報告がびたりと途絶え、我々さえも、少々

危なくなつてきだしたのである。

「走り出たカモのひな9羽」

指折り数えてちょうど一ヶ月。その日の

午前9時20分頃のことだった。

どこでどう9羽のひなをふ化させたので

あるうか、ゾウ舍北寄りの土道にちつちや

なお尻をふりふり、9羽のひなをひきつ

れ、あのカモの“家出娘”が、姿を見せた

のである。

木の枝や屋上、つまり空中に巣を作りひ

なをかえす鳥は、『就巣性』とよぶ。つまりふ化したひな

は木の枝の上。下手に動けば地上に落ちてしまう。親た

ちは丸裸のひなにせつせつと餌を運び続ける。

一方、地上に産卵ひなを育てる鳥は、『離巣性』という。

とにかく、ふ化したひな9羽は何でもいい動く物があれば大よろこびそのあとを追い餌探しに明け暮れるのだ。

だから、ふ化した一日は、9個みんながふ化し終るま

で、じーとすわりこんだまま親の胸の中で待ち続ける。

そして、翌朝、ふ化した9羽、全部をひきつれ、いつせ

いに、巣から、世間さまの眼にとまる。ゾウ舍前をアヒ

ルの学校よろしく一列縱隊、エサ拾いにお出かけになつたのだ。

野良ネコ、野犬がたむろする園内のこと致しかたな

く、そのまま自由な生活を与えることができなかつた。

いや、危険が予想されるので、かわいそなが、金網張

りの大放鳥舎(フライングケージ)に保護収容し、その

後2羽が死亡したものの残り7羽はもうすっかり親と変

らないほどの成長を見せていく。それにしても父親はと思えば、はや別のメスを連れ添いハクチヨウ池を泳ぎ回つてゐるのである。

△王子動物園学芸員／写真も△



“家出娘”的カモは9羽の子供をつれて帰ってきました。

幼兒齒科 小兒齒科

SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐 本 小 児 歯 科

母親教室

(初診日) 火曜日 午前 9 時 30 分
金曜日 午後 1 時 30 分
(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口
住友銀行三宮ビル6階
〒650 生田区加納町5丁目39
TEL (078)331-6302~3



こんにちは赤ちゃん



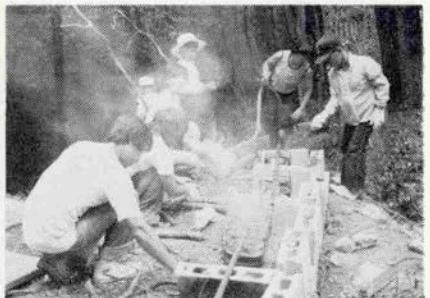
桑田郁子ちゃん/芦屋市朝日ヶ丘町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋 柿沼産婦人科



芦屋市大枒町1番18号
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表



六甲山の 山荘開放

—里親家庭のキャンプの試み—
「六甲ファミリークラブ山荘」の一周年記念に
橋本 明 △社団法人「家庭養護促進協会」事務局長▽

六甲山のカントリー・ハウスのすぐ北側に「六甲ファミリークラブ山荘」という小さな山荘がある。この山荘は約二〇人の若い人たちがお互いにお金を出し合って建てたもので、この八月で創設一周年を迎えた。この山荘のメンバーの一人である川端耿一さんから、一周年記念に協会の里親子のファミリーキャンプをこの山荘を利用してやつてはどうかというお誘いをうけたのが半年ほど前のことだった。さらにこの山荘のメンバーの一人であり当時六甲レオクラブの会長でもあった滝川秀司さんの協力もあって計画は具体的に動き出し、神戸六甲ライオンズクラブの会員でレオ委員長の佐藤廉氏のご努力で六甲レオクラブ（太田正美会長、メンバー約三〇人）の全面的な協力を得て、第九回ほんこキャンプが八月五、六、七日の三日間、約八〇人の参加者のもとに開かれた。

八月五日は約二〇人の小学校四年生以上の子どもたちが参加し、阪急六甲駅から山頂までバスで上り、記念碑台から約一時間歩いて山荘に到着。夕食はカラ揚げを食べ、夜は近くのタキロン荘という山荘の米村邦稔さんをお招きして約一時間「六甲山の自然」というテーマで楽しいお話を聞き、少しゲームをした後十時に消灯……という予定であったが、子どもたちはテントでの生活に興

奮し、夜中の一時すぎまでドタソ、バタンと暴れ回り、翌朝は全員睡眠不足で頭がボンヤリ。「アーッ、ネムテーナー」と目をこすりつつ六時起床。午前九時から子どもたちは自分たちでおにぎりをつくって六甲山牧場へハイキングに出発。山荘→新池→記念碑台→ダイヤモンドポイント→三国岩を経て牧場に着いたのが十二時前。約三時間のハイキングにややバテ気味。帰りはバスに乗り二時頃山荘にたどりつくとボランティアのみなさんが心をこめて「野外トイレ」を作ってくれていた。地面に穴を堀り、テントとゴザで囲い、中にはアジサイの花も活けてある風流なもので人気抜群。四時すぎにもう一つのグループが到着し、山荘は八〇人の大人と子どもたちでごったがえした。この日の入村式には六甲ライオンズクラブの太田正氣会長さんをはじめ、多くのメンバーがご参加下さり、夕食の豚汁と共に味わい、楽しいひとときを過した。陽が西の空に沈み、六甲の山々にも静かな夜のとぼりがおりると、待望のキャンプファイアが始まり、キャンプは最高潮になった。ボランティアの田淵さんや源水さんのリードでファイアを開き、みんな輪になつて歌を唄い、ゲームに興じ、あつという間に夜もふけてしまった。

ファイアーハーの後、しばらく打上げ花火を楽しんで十時に消灯。山荘の周りにテントを九張りも張り、約五〇人がテントで夜を過し、すがすがしい朝を迎えた。

七日の最終日は、午前八時から班別行動を計画し、近くのカントリー・ハウスへ行くグループ、昆虫採集をするグループ、記念にトーテムポールなどをつくるグループなどに分かれて楽しんだ。そして最後の昼食は全員でカラーライスづくりに取り組み、四つの班に分かれて味を競い合い、カレーには目のない元町画廊の佐藤さんとレオクラブの太田さんが味定めをして順位を決めた。午後は、飛び入りで参加していただいた宮田隆さんのフラメンコギターの演奏を楽しみ、ハイジと亀井堂さんからいただいたお菓子をくじ引きで分け、おいしいスイカを口にはおばつて、午後二時半に全員で記念写真をとつて現地解散となり、三日間の楽しかったキャンプの幕を閉じた。

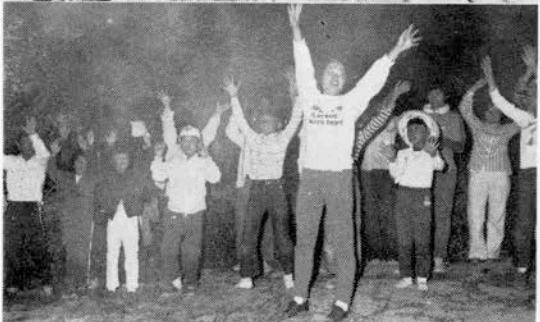
六甲山には約二百近くの山荘があり、それぞれの所有者の家族や会社の社員が利用しているが、利用率は低く

普段はほとんど空いたままになっている。この山荘をもつと広く一般市民に開放して、山荘を市民の共有できる財産にすれば素晴らしいと思うのだがなかなかそれは難しいようである。

しかし、この山荘開放の実験的な試みとして実施したのが今度のキャンプでもあり、この試みは予想以上の成功をおさめた。「今までのキャンプで一番樂しかった」という声が参加者から寄せられたのは関係者にとって大きな喜びであった。

最後に、このキャンプのために山荘を提供して下さった六甲ファミリークラブのメンバー、資金の援助をしていただいた六甲ライオンズクラブ、炊事を担当して下さった六甲レオクラブの若い人たち、子どものお世話を引き受けてくれたボランティアのみなさんたちに心からお礼を申し上げたい。

そして多くの若い力が福祉の土壤を肥やし、連帯の心を培い、新しい地域づくりへと目をひろげていっていただくことを期待したい。



上 オーイ、こっち向いてよく聞けヨー。楽しいキャンプの始まりです。

中 今日の夕食はカラ揚げデース。

下 歌って踊ってワッショイワッショイ。キャンプファイアは最高気分

●ファミリーで飲んでます△9月▽

マシーナー

★9月のファミリーは

神戸子と健康

細川

ただすさん
町子さん

ミネララサヒ

美智留さん



イオン水生成器

□活性カルシウム

イオン水



刀流で第二の青春に挑戦している僕にとって健康のことなど考えるひまはない。

最近こんな僕の所へ、アルカリ性イオン水を作るスープマシンが持ち込まれた。ああ因縁とは恐ろしいものだ。実はアルカリ性食品は僕の命の恩人なのだ。

僕は小学校四年まで毎年病床で正月を迎えた。しかし五年からは違った。父が子供の食生活をアルカリ食品に変えてくれたからだ。四十年前を思い出し、なつかしくんで早速、僕はスープマシンを購入して飲み始めた。

五十を過ぎたばかりの僕がこんないい水を本真剣に飲み出したら一体これから先どれほど多くの年月このマシンのために愛すべき浮世にしばりつけられることになるのだろう。楽しみなことだ。

総発売元・技術指導

旭硝子株式会社

本社〒100 東京都千代田区丸の内2ノ1ノ2
(千代田ビル) 特品営業部 ☎ (218) 5574

代理店

株式会社 リーベ

〒651 舟入区磯辺通1丁目1ノ20
078(251)3531(代)
健康機器販売部 251-3593・4

活性カルシウムイオン水生成器は水道水を急速に電解処理して活性カルシウムイオン水(アルカリ水)と、アストリンゼン液(酸性水)を同時にできます。そのイオン水は、消化不良、慢性下痢、胃腸内異状発酵、制酸作用にも有効で、酸性に傾きがちな体液を理想的な弱アルカリ性に保つ働きをします。この「ナチュラルミネララサヒ」の特色は、①旭硝子が開発した特殊電極②煮焼は最高級③便利な連続取水機構④シンプルなデザイン⑤生成時間はわずか5分⑥徹底した安全設計⑦付属品も万全です。

△標準価格 59,500円
割賦販売(10ヶ月)もある△

★神戸の集いから

★日米を結ぶ空手道

八月十七日から七日間、姉妹都市シアトルを神戸市代表空手道グループ（菅野淳八段、他十六名）が親善訪問。家庭訪問、日米市民会議出席や空手の模範演技の披露でシアトル市民との交歓のあと二十五日に帰神

訪問。家庭訪問、日米市民会議出席や空手の模範演技の披露でシアトル市民との交歓のあと二十五日に帰神



模範演技を披露



長島市民局長の音頭で乾杯

★坂に名をと
北野コミュニティクラブ
北野町界隈が、神戸の新しい環境空間のファッショ
ンゾーンとして魅力的に成長しつつある時、NHKは朝ドラに「風見鶏」を10月1日からスタートさせ、銀河ドラマでも、この界隈が舞台になる。



北野コミュニティクラブ発足

それに先立ち同二日生田神社会館で壮行会が行なわれた。佐野雄一郎神戸市助役などの激励に答えて「頑張ってきます」と菅野代表長島市民局長の音頭で乾杯のあと、代表団全員の模範演技。見事な演技に、集

まつた市民たちから感嘆の声が聞かれた。なお、今年で神戸市、シアトル姉妹都市提携二十周年である。

★坂に名をと

北野コミュニティクラブ
北野町界隈が、神戸の新しい環境空間のファッショ
ンゾーンとして魅力的に成長しつつある時、NHKは朝ドラに「風見鶏」を10月1日からスタートさせ、銀河ドラマでも、この界隈が舞台になる。

★本場のフラメンコギター
の醍醐味を！

この界隈のアーツショニヨン・ショップの人々が集う“北野町コミュニティクラブ”が8月4日ローズガーデン3Fに集合、神戸市に愛称されている異人館通りへシヨン留学、4年あまり本場でみつかりと修業した関西唯一のプロフラメンコギタリスト。午後7時から2回

の演奏には一般客に加えて30名余りのファンが集い本場の妙えなる調べに魅了された。8月26日(金)にはローズガーデン3階で佐藤佑子さんの贊助出演を得て*Gasparo Andaluz*を開催。神戸での活躍が期待され。ロインドリープのある坂道

・もともとハンター邸があつたので、それを定着させてほしいと提案。市も、この

局観光課はガイド図とガイド標識をたてる。

この界隈を神戸の詩的空間として深い趣きを加えるのも住人たちと、北野コミュニティクラブに期待がよせられている。

この界隈を神戸の詩的空間として深い趣きを加えるのも住人たちと、北野コミュニティクラブに期待がよせられている。

結婚に関する一切のコンドミニアム、カウンセラード標識をたてる。

この界隈を神戸の詩的空間として深い趣きを加えるのも住人たちと、北野コミュニティクラブに期待がよせられている。

結婚に関する一切のコンドミニアム、カウンセラード標識をたてる。

小泉バー・ティ
ご案内
★結婚を希望する男女に交際の場を提供し、良きパートナーを見出すお手伝いをいたします。

趣味を通しての新しい出会いの場、美術愛好会、芸術愛好会、レジャー愛好会、文学愛好会、音楽演劇愛好会があるって、ご参加下さい。

★食べ放題！
三木でぶどう狩
とき 9月11日(日) 10時集合
ところ 平井山観光ぶどう園
かいひ ￥7,948-3-1-3546
(交通費と入園料)
集合場所 神戸電鉄新開地駅
携帯品 改札口附近
申込締切 9月4日まで
小泉バー・ティ
ご案内
趣味を通しての新しい出会いの場、美術愛好会、芸術愛好会、レジャー愛好会、文学愛好会、音楽演劇愛好会があるって、ご参加下さい。



神戸市東区浜辺通六丁目三一
三ニユーポートホテル一F
一三号口 二五二一三八〇〇
毎月曜休 一〇時～一八時

本物のエレガンス、ボーシャル&ルイザ

ファッショントレンド

種本 健志

△ワールド海外事業部次長



「本当にいいものを売りたい」と種本さん

神戸の街のハイ・センス、ハイ・クオリティを象徴するかのような、シックな茶色の、エレガントな曲線のワールドの新しいビル。その四階の一室で海外事業部の種本健志さんにお話を伺った。

「この部門は今四年目、伊藤忠の輸入の仕事をしていた私が、こちらに移つてから新しくできた部門です。従来日本の輸入は舶来主義なんですよ。業者もそうですし消費者も歐州の先進国に対する憧れのようなものがまだあつて、シビアな目で輸入品を見れていないんです。たとえばサン・ローランとかエルメスなどといった名前があればそれでいいといった、名前を着させてもらつてみたいなどあるわけです。業者も名前があれば簡単に売れるわけだから、むこうのメーカーと交渉したりしないんです。高ければ高いで、名前さえあれば売れるのですから。これでいいのだろうか、これがファッショ

ンだろうかつていつも疑問を持つっていました。

——ボーシャルというのとは?

「ボーシャルというブランドはワールドがイタリアのメイカーアトリエで作らせているものにつけたブランドなんです。有名なデザイナーの名前をブランドにして、名前で売るのは簡単ですよ。でもそれじやいけない。ボーシャルの名前は始めは全く知られてなかつたというわけです」

——名前や値段だけじゃないということですか?

「最近バーゲン製品があまり売れなくなつたと聞きました。いいんですね。安いから買おうということじやなくて、これがあれば生活が楽しくなるからという具合に価値が問われているわけです。ファッショントレンドについて言うと、着るものとは何かなどといった問い合わせがなされるようになつて、ワールドの観点も、こういう点にあります。『ファッショントレンド』とワールドは考えているのです。本当にいいもの、本当に役に立つものを売りたいですね。」

——どういう発注の仕方をしているのですか?

「ファッショントレンドは、一人一人が対象なわけですが、大体今の輸入の洋服は、買ってきてそのままを日本で売る場合が多いようです。日本人の体型に合うはずがないですよ。ワールドでは、ボーシャルもルイザも、ボディをむこうに送つて日本人向きにカッティングさせています。寸法が違うだけでなく、体型が違つているのですから。これでいいのだろうか、これがファッショ



Luisa Poushal

——日本で作るより、やはりいい物ができるのですか？

「こうして、輸入するから手間がかかるんです。それなのにどうして輸入するか。日本の商品しか知らないといろんな面で停滞してしまうわけです。今作っている以上のものを作るにはどうすればいいかということを、機能性と美しさから考えると、日本の洋服の歴史ではまだまだなんです。ワールドは外国品と競合っているうちに伸びましたよ。技術的な面も取り入れるのですが、それより商品を作る心構えを学べたわけです。職人気質みたいなものです」

——ワールドの海外ブランドの買い付けのボリシーはどういうことでしよう？

「衣料品はいつも発想に問い合わせきますよ。何となく、日本はこれでいいのかといった“愛国心”まで逆のぼるんです。だからむこうに買いけに行つても、商売だけでなく消費者、つまり日本の生活者に対する思いやりがないといけないでしよう。日本の人に見てもらつて、そして楽しんでもらいたいといつも思つています」